

平成30年度 事業報告項目一覧

社会福祉法人 弘英会

神出シニアコミュニティ

項 目	ページ	担当者名
● 施設本部	1	事務主任 河口
● 特養相談員	2	相談員 東谷
入退所状況	3	
稼働率	4	
栄養・看取り・看護加算	4	
外泊・初期加算	5	
年齢・在所期間一覧	5	
入所相談受付	6	
ボランティア活動受け入れ実績	6	
実習生・研修生受け入れ実績	7	
行事实績状況	7～9	
● 特養介護職員	10～11	介護主任 黒木
● 介護支援専門員	12	ケアマネ 井口
● 看護職員	12～13	看護主任 安藤
● 管理栄養士	13	管理栄養士 横山
月別栄養所要量	14	
事業別給食数	15	
食品群別摂取量	16	
給食関係実施一覧表	17	
● ショートステイ	18～19	相談員 林
● デイサービスセンター	20	相談員 赤木
● ケアプランセンター	21	管理者 中嶋
居宅介護支援費実績報告書	22	

神出シニアコミュニティ

平成30年度事業報告

●施設本部

今期のテーマ チャレンジと成長

- 今期計画
1. 人材育成の体制強化
 2. 労務管理・職場環境の改善
 3. 管理体制の強化

1. 人材育成の体制強化

人材育成の基盤を作る為に、外部講師による「介護基礎研修」を10回開催し延べ110名が参加。不参加者にも情報を共有し知識の統一化を図った。また、プリセプター制度を導入するべく、9名の指導者を任命。指導項目・評価項目等現状に合ったチェックシートを作成。来年度からの入職職員に対応出来る様整備した。

2. 労務管理・職場環境の改善

「辞めない環境づくり」を念頭におき、労務管理、環境整備に努めてきたが、離職率22%（正職員12名 パート14名）となった。役割や能力発揮、成果に応じた処遇の仕組みを整備すべく今年度は「優秀職員表彰」を行い3名選出された。環境整備については、課題の把握につとめ日々改善が必要である。また、定期的に服務規律・コンプライアンスについて周知することにより職員の意識付けをしていかなければならない。

3. 管理体制の強化

	虐待 身体拘束	褥瘡予防	安全	感染症 対策	事故発生 防止	防災防犯	接遇
開催回数	12回	12回	4回	17回	34回	2回	3回

・虐待防止委員会については、毎月不適切なケアがなかったかを確認。件数は少ないが、職員の利用者に対する言葉遣いが荒い、身だしなみが出来ていない等が挙げられた為、都度指導を行った。

・身体拘束廃止委員会では、年度初めは8名の対象者が居られたが、年度末には3名まで減らすことが出来、新たな対象者が増えることもなかった。

・事故発生防止委員会では、9件の骨折事故があった。内、介護事故と思われる事例もあった為、サービス向上研修で生活支援技術の確認を行った。また、ヒヤリ・ハット報告書が例年より増加。特に服薬関係では未然に事故を防ぐことが出来た。一方で同じ内容のものが続く例もあった。

・委員会によっては、活動が不十分・マニュアルの整備が出来ていない等、課題点もある為、引き続き委員会の必要性を考え、全職員の意識統一を図っていく。

●特養相談員

今期のテーマ 利用者・家族とのコミュニケーションを密にとり、意向や思いを汲み取り、入所して良かったと思える関係性をつくる

今期計画 1. 実質稼働率95%の達成
2. 利用者・家族とのコミュニケーションを図る

1.実質稼働率95%の達成

入所検討委員会 定例会議（開催予定第1月曜日） ⇒ 12回開催

適宜会議 ⇒ 9回開催（4/16・4/30・5/14・6/7・6/23・7/12・9/10・10/8・10/16）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	98	95	95	96	96	98	98	99	99	100	100	100
稼働率%	92.87	90.90	89.67	90.06	91.77	92.77	95.23	96.33	96.32	96.26	95.89	93.16
退所者数	3	4	4	0	2	0	3	1	1	0	0	0
新入所者数	3	1	3	2	3	2	2	2	1	1	0	0

年間稼働率が93.52%と稼働率目標の95%には至らなかった。

病院入院中や老健入所中の申込が多く、退院・退所期限に空床なく他施設に入所し取下げとなる事も多くあり、ショートステイを利用していただき入所待機者の管理を行い、11月頃より軌道にのり、退所から入所までの期間の短縮に繋がった。

またショートステイ利用により、ご利用者自身環境に慣れ戸惑いや不安なく入所となる事が増えた。今後も適宜入所検討会を開催しショートステイ利用も含め入所申込者の状態把握を行っていく。入院されたご利用者に対しては状態把握の為、地域連携室への連絡や面会行い退院時期の把握に努め、ショートステイ相談員と連携しショートステイ利用者の空きベット利用に繋がるよう情報の共有を行った。それにより前年度以上には空きベットの利用が行えた。

今期行政より虐待ケースの受入れ依頼あり、措置入所での受入も行った。今後も臨機応変に対応できるように、施設内で検討し受入を行っていきたい。

終末期を迎えられたご利用者家族に対し、ご家族の意向を伺ったうえで施設での看取りを行った。平成30年度は4名のご利用者を施設でお看取りさせていただいた。面会時や電話連絡にて出来るだけその日の状態等をお伝えできるように努めた。

また病気により医療が必要となり施設での生活が難しく退所となったご利用者家族に対しても、入院先への面会等、退所後の関りも継続し、施設でお看取りさせて頂いたご利用者、入院先で亡くなられたご利用者の葬儀やお通夜に可能な限り参列させて頂き、最後までご家族とのコミュニケーションが取れるよう努めた。

2.利用者・家族とのコミュニケーションを図る。

平成30年度は年間行事としての家族会以外に、フロア毎の家族会も開催し、職員との交流と家族間の交流を目的に行った。平日の開催となり参加頂けるご家族は少数であったが、日々の生活の様子や雑談も交え話す良い機会となった。

ご利用者とは四季折々の行事以外に、須磨水族園や喫茶店への外出等する機会ができ楽しんで頂けた。平成31年度も、ご利用者やご家族、職員も一緒に楽しめる行事を施設全体で計画していければと思う。

特養 入退所の状況

平成30年度

月	新規入所者							退所者						入院者(人)
	在宅	その他				病院	計(人)	家庭復帰	医療機関入院	他施設への転出	死亡	その他	計(人)	
		他の福祉施設	サービス高齢者住宅	グループホーム	老健									
4	3						3		2		1		3	5
5						1	1		2		2		4	4
6	1				1	1	3		3		1		4	1
7		1				1	2						0	3
8	2					1	3		1		1		2	2
9	1			1			2						0	5
10	1					1	2		2		1		3	4
11		1				1	2				1		1	5
12					1		1				1		1	4
1	1						1						0	5
2							0						0	2
3							0						0	1
合計	9	2	0	1	2	6	20	0	10	0	8	0	18	41

平成30年度 特養 稼働率

月	要介護度2		要介護度3		要介護度4		要介護度5		計			稼働率
	実人数 人	実日数 日	実人数 人	実日数 日	実人数 人	実日数 日	実人数 人	実日数 日	実人数 人	実日数 日	実日数 /月日数	
H30.4	2	60	30	869	40	1040	29	817	101	2786	92.9	93%
5	2	62	28	844	39	1137	30	775	99	2818	90.9	91%
6	2	60	26	736	41	1150	29	750	98	2696	89.9	90%
7	2	62	27	769	40	1218	27	832	96	2881	92.9	93%
8	3	78	27	775	43	1255	26	791	99	2899	93.5	94%
9	3	90	26	756	43	1227	27	750	99	2823	94.1	94%
10	3	93	26	698	43	1284	29	813	101	2888	93.2	93%
11	5	150	24	690	44	1222	27	721	100	2783	92.8	93%
12	5	155	25	719	41	1189	29	856	100	2919	94.2	94%
H31.1	5	154	26	760	40	1173	29	862	100	2949	95.1	95%
2	4	112	27	744	39	1027	30	806	100	2689	96.0	96%
3	4	124	27	771	38	1166	31	961	100	3022	97.5	97%
合計	40	1200	319	9131	491	14088	343	9734	1193	34153	93.6	94%

29年度	29	873	373	10525	457	13114	336	9665	1195	34177	93.6	94%
------	----	-----	-----	-------	-----	-------	-----	------	------	-------	------	-----

特養 栄養・看取り・看護加算

月	栄養マネジメント加算 日	口腔衛生 管理体制 加算 人	口腔衛生 管理加算 人	療養食加算		経口維持 加算Ⅰ 人	看取り介護加算				看護体制加算		
				人	日		(1) 人	(2) 日	(3) 日	計 日	Ⅰ	Ⅱ	
4	2786	98	4	5	390	9	1	27	2	1	30	2786	2786
5	2818	95	6	4	372	7						2818	2818
6	2696	96	6	5	289	8						2696	2696
7	2881	95	8	5	415	8						2881	2881
8	2883	96	8	5	417	9	1	5	2	1	8	2899	2899
9	2823	98	8	5	440	10						2823	2823
10	2888	98	8	4	372	9						2888	2888
11	2783	99	7	4	360	12						2783	2783
12	2919	96	5	5	416	12						2919	2919
1	2936	96	5	5	465	12						2949	2949
2	2689	100	6	5	420	13						2689	2689
3	3022	99	8	5	465	13						3022	3022
計	34124	1166	79	57	4821	122	2	32	4	2	38	34153	34153

特養 外泊・初期加算

(上段 実人員)
(下段 延日数)

30年度

月	介護度												合計	初期加算
	介護度1		介護度2		介護度3		介護度4		介護度5		小計			
	外泊	入院	外泊	入院	外泊	入院	外泊	入院	外泊	入院	外泊	入院		
4						1	1	2		3	1	6	7	5
						1	1	12		16	1	29	30	62
5						1		3		5	0	9	9	5
						6		9		26	0	41	41	48
6						3	2			3	2	6	8	5
						18	5			18	5	36	41	68
7						1		2			0	3	3	6
						6		12			0	18	18	116
8							2			1	2	1	3	4
							4			6	4	6	10	40
9						2	1	2		2	1	6	7	4
						5	2	12		12	2	29	31	39
10						1	1	3		1	1	5	6	4
						6	2	18		6	2	30	32	68
11							1	2		2	1	4	5	5
							2	7		12	2	19	21	62
12						2	1	3		1	1	6	7	5
						12	2	16		6	2	34	36	95
1			1		1		3			1	5	1	6	2
			1		1		5			6	7	6	13	17
2					1		1			1	2	1	3	4
					6		6			6	12	6	18	47
3					2						2	0	2	4
					12						12	0	12	73
合計	0	0	1	0	4	11	13	17	0	20	18	48	66	53
	0	0	1	0	19	54	29	86	0	114	49	254	303	735

特養 年齢・在所期間一覧

年齢別性別状況 (特養) (契約者数 100名)

(平成31年3月31日現在)

性別	64才以下	65才	70才	75才	80才	85才	90才	95才	100才以上	合計	平均	最高	最低
男	1	2	3	1	3	4	8	0	0	22	82.8	94	55
女	0	0	4	4	12	20	26	9	3	78	88.1	105	70
計	1人	2人	7人	5人	15人	24人	34人	9人	3人	100人	86.9	105	55

在所期間状況 (契約者数 100名)

(平成31年3月31日現在)

性別	1年未満	2年未満	3年未満	4年未満	5年未満	6年未満	7年未満	8年未満	9年未満	10年未満	10年以上	合計
男	5	3	5	2	1	2	2	2	0	0	0	22
女	14	14	11	13	6	3	3	3	4	3	4	78
計	19人	17人	16人	15人	7人	5人	5人	5人	4人	3人	4人	100人

特養 入所相談受付

平成30年度

	男性	女性	変更 申請中	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	在宅	老健	病院	ケア ハウス	その他	計
H30.4		1					1				1			1
5		1				1					1			1
6	1	3				2	2			1	2		1	4
7														0
8	2	4				2	3	1	2	1	1		2	6
9		1				1							1	1
10		1					1				1			1
11		1					1		1					1
12		1		1					1					1
H31.1														0
2	1	1				2					1		1	2
3		2				1	1			1	1			2
計	4	16	0	1	0	9	9	1	4	3	8	0	5	20
29年度	14	19	0	0	0	18	11	5	7	9	13	4	2	35

特養 ボランティア活動受け入れ実績

平成30年度

《クラブ活動》

クラブ活動名	日 時	実施回数
踊り教室 (講師 村井敏子様他)	第4火曜	4回
生け花クラブ (講師 中嶋 嘉代子様)	第4木曜	9回
書道クラブ (講師 釜本様 花房様)	第1水曜	9回
音楽セラピー (講師 レインボー) (吉田 公美子様)	第3金曜	10回
化粧クラブ ノエビア (講師 中井 優子様)	第2・第4水曜	9回
茶道クラブ (講師 三宅 和子様)	第2土曜日	9回

(敬称略)

《ボランティア》

ボランティア団体名	回数
GG倶楽部 (ギターアンサンブル)	2
すもっくS (女性コーラスグループ)	1
シオン合唱団	1

(敬称略)

特養 実習生・研修生受入れ実績

平成30年度

〈ワークキャンプ〉

[団体名]	[実施日]	[人数]	[内容]
神戸市立 神出中学校	7月26日	1名	・フロア見守り ・レクリエーション
	7月27日		・食事配膳
	7月30日		・おやつ手伝い

〈トライやるウィーク〉

[団体名]	[実施日]	[人数]	[内容]
兵庫県立 西神戸高等特別 支援学校	11月5日～9日	1名	・車椅子清掃 ・洗濯物たたみ ・食器洗い

〈その他〉（福祉体験学習）

[団体名]	[実施日]	[人数]	[内容]
神戸市立 平野中学校	10月5日	8名	・フロア見守り ・レクリエーション ・食事配膳 ・入浴介助（ドライヤー）

特養 行事実績状況

平成30年度

日 時	行 事	参加人数			内 容
		特養	S. S.	家族	
4 8	お花見	全員	全員	92	4月8日にお花見会を開催し、大勢のご家族に参加頂け、一緒に楽しんで頂いた。今年度は桜の開花のタイミングが合わず、満開の中でお花見を開催することが出来なかった。 施設内でも楽しんで頂けるよう、お花見弁当やパンダ焼き、桜茶・綿菓子を出し、ご利用者やご家族に楽しんで頂いた。
5 1	創立記念日	全員	全員	-	創立20周年を祝う。 永年勤続の表彰。
5 16	須磨水族園遠足	7	-	-	5月16日に開催。7名のご利用者と一緒に須磨水族館に遠足。お弁当を用意してもらい、水族園で職員と共に食べる。大きな水槽にたくさんの魚を見られ、ご利用者も楽しまれた。又、イルカショーにも大変喜ばれ、長時間の外出となったが、特に体調を崩されたりつかれた様子はなく楽しまれた。
6 6	喫茶外出	9	-	-	6月6日に珈集に喫茶外出。 普段外出が難しく長時間の離床が困難な方を主に対象とし、9名のご利用者が参加される。 珈琲や紅茶と共にケーキや和菓子を食べられ、いつもと違う雰囲気での飲食し、楽しまれた。

特養 行事实績状況

平成30年度

日 時	行 事	参加人数			内 容
		特養	S. S.	家族	
7 7	七夕会	全員	全員	-	各フロアに笹を準備し、ご利用者・ご家族・職員が短冊に願い事を書き、短冊等飾り付けを行った昼食は鮭のちらし寿司や星形コロッケ等、七夕らしい食事をだし、午後からは職員が織姫・彦星に仮装し各フロアを回り、紙芝居や七夕の歌を唄う等、七夕レクリエーションを行った。
8 19	盆踊り	全員	全員	88	8月19日に実施。(家族会を兼ねて)盆踊り会場は北館1階に設営し、2部制に分け、実施。混雑が解消され、職員とご利用者が一緒に輪に入り踊る等楽しんで頂けたのではないかと思います。
9 18	敬老会	全員	全員	-	9月18日に開催。昼食は華やかな祝い膳でお祝いした。午後から慶寿の方々(21名)のお祝品を送り、村井先生・新入職員による演芸会を開催し楽しんで頂いた。
10 20	秋祭り	全員	全員	87	10月20日に開催。例年昼食をメインに開催してきたが、今年度は午後からの開催とし、露天・演芸デザートを提供。各フロア毎に露天を出し射的やヨーヨー釣り等景品を付け行い楽しまれた。演芸では3グループ来園いただき、琴や三弦の演奏、銭太鼓、マンドリンやギター演奏や音楽遊び等、1階と2階に分け演奏して頂き、好評であった。
11 8 9	神出文化祭	出展者	-	-	11月8日9日に開催。恒例の地域イベントの神出文化祭に書道7名・きめこみ1名・壁掛け等出展し、出展者を中心に会場を見学。参加された方は自身の作品や他者の作品にも目を向けられ、次年度の出展物を計画されたりと意欲の向上にも繋がった。見学終了後和菓子とお茶を楽しんで頂いた。
12 25	クリスマス会	全員	全員	-	12月25日に開催。各フロアにクリスマスツリーをご利用者と飾り付けを行い、クリスマスの雰囲気味わって頂いた。昼食は鳥の丸焼きを取り分けてお出ししクリスマスらしい食事を楽しんで頂いた午後から職員がサンタやトナカイに仮装し、クリスマスソングをご利用者と職員が合唱し皆様に楽しんで頂いた。また一人一人に手作りのクリスマスカードと小物をプレゼント。手作りのクリスマスケーキも豪華な飾り付けで皆様喜ばれた。
12 27	もちつき	全員	全員	-	12月27日に開催。感染予防の為特養入所者・SS利用者のみの餅つき大会とした。ご利用者もお餅をつかれ楽しまれた。ついたお餅はぜんざいで振る舞い美味しそうに召し上がられていた。
1 1	新年祝賀会	全員	全員	-	昼食にはおせち料理をお出しし新年のお祝いをする。午後からは職員が獅子舞となりご利用者一人一人まわり一年の健康祈願する。
1 4	初詣	8	-	-	1月4日に神出神社に8名のご利用者をお連れし参拝する。参拝後展望台より眺望し喜ばれる。

特養 行事实績状況

平成30年度

日 時		行 事	参加人数			内 容
			特養	S. S.	家族	
1	9	新春 職員演芸会	全員	全員	-	1月9日に演芸会を開催。各フロアや専門職が演芸を披露し、満面の笑顔で楽しまれた。
2	2	節分	全員	全員	-	2月2日に開催。昼食に巻き寿司や鯛料理等をお出しし、午後からは年男・年女の紹介をし、職員が鬼に変装し各フロアで豆まきを行った。ボールを豆替わりに使用。職員が鬼に仮装し皆様退治し楽しんでいた。
3	2	雛祭りお茶会	全員	全員	-	3月3日の桃の節句に各階に雛人形を飾り、お茶会を開催した。感染予防の為今年度は各フロア毎に3月2日・5日・6日・12日に開催。着物を着た職員とお茶をしていたご利用者がお茶をたてて下さり、皆様お茶菓子と共にお抹茶を楽しまれる菓子と共にお抹茶を楽しまれる。またお茶をたてて下さったご利用者も久しぶりにお茶をたてる事が出来た事に喜ばれた。
	5					
	6					
	12					
7	24	家族会	本1	-	8	各フロア毎に家族会を行い、職員とご家族との交流や意見交換を行う。各回共にご家族と一緒にわらび餅を作りながら交流や意見交換し、家族間の繋がりとともに、ご家族も楽しんで頂けたかと思えます。
9	21		本2	-	15	
11	16		北館	-	6	

●特養介護職員

今期のテーマ 『共生』～利用者、職員、留学生が安心して生活・
仕事ができる環境を皆で作ろう～
今期計画 利用者の「今」「この瞬間」を大切に思える行動が出来る職員作り

1. 留学生の生活支援技術の底上げ

- ・3大介護(入浴、排泄、食事)を中心に経験を積む機会を作った。指導したことは、すぐに実践できるようになった。

2. 記録方法の平準化

- ・クラブ活動の記録は利用者の状況がよく見えたものになっており良かった。
- ・事故報告書の記録は全体的に不備が減り、読み手に伝わりやすくなった。
- ・ケアプランの実施記録は状況が分かりやすい記録、実施したのみの記録等、フロアによりバラつきが見られた。
- ・体調不良、処置に関する記録は看護職員との連携がとれていた。
- ・ケアでの「気付き→工夫→結果」という流れの記録が少なかった。

3. 駄目なことは「ダメ」と言える風土作り

<業務、ケア>

- ・各フロア月間目標の毎日の唱和により「見える化」を図った。
⇒決めたことができていない職員に対し職員のみ注意できていた。職員全員が注意できるまでは至っていない。

<接遇(身だしなみ等)>

- ・一部の職員のみ注意できていた。

4. 適切な介護、不適切な介護の区別が判断できる職員作り

- ・虐待防止委員会で確認し合ったが、介護職員からの報告件数は少なかった。
- ・件数は少ないが不適切な言動を発見した場合、その職員には早急に指導教育を行った。

5. 生活支援技術の平準化

- ・介護経験5年未満の職員に対する確認指導、経験5年以上の職員の介護プロフェッショナルキャリア段位の取得は、計画不足のため実施できなかった。

6. 適切な接遇(身だしなみ、言葉遣い、敬語)を実践できる職員作り

- ・年度後半、敬語を遣えないこと、身だしなみの統一性に欠けている職員が数名いた。

7.各フロア報告

<本館 1 階>

体調や皮膚状態の変化発見に対し、ケース記録や申し送りを活用することで、介護職員間、他職種とも情報を共有し対応することができた。予防としては不十分に感じるところもあったため、今後は観察や予測する力を養い、より早い対応ができるように、努めていく。

<本館 2 階>

職員間で連絡ノートやケース記録で、情報を共有するよう努めたが、ご利用者へのケアで整容、居室、フロアの整理整頓に関しては不十分なところがあったと思う。今後は職員一人ひとりが意識して取り組める環境作りに努めていく。

<北館 1 階>

他職種への報告、連絡、相談は密に行った。また状態に合わせ、都度ケアの見直しを行えた。今後も負担や苦痛を少しでも減らし、穏やかな時間、安らげる環境を提供していく。

<北館 2 階>

伝達に関して、申し送りや申し送りノートの活用で情報共有が行えていた。その他もご利用者に変化が見られた情報は、都度話し合うことができている。今後もご利用者に快適に過ごしていただけるよう、各自が意識していく。

●介護支援専門員

今期のテーマ 適切なケアを展開するためのケアマネジメント

- 今期計画
1. モニタリングの視点を統一する
 2. 利用者の状態変化に即したケアプランを作成する

1. モニタリングの視点を統一する

- ・目標の達成度・実施内容・現況・提案事項等モニタリングシートの記載が具体的にできるようになった。カンファレンス開催時に検討内容が焦点化でき、家族にわかりやすいカンファレンスが開催できるようになった。

2. 利用者の状態変化に即したケアプランを作成する。

- ・入所時・退院時・褥瘡発生時・経口維持加算算定時・口腔衛生加算算定時等、利用者の状態変化に即し、随時カンファレンスを実施し、ケアプランを作成することができた。

●看護職員

今期のテーマ 介護職員が安心して介護に専念できる環境を作る

- 今期計画
1. 統一した看護を提供できる
 2. 他職種との連携を図り、協働によるケアの提供する

看護師の人数も充実し、介護の現場に各看護師が積極的に入り、他職種との連携もできてきたと実感している。しかしながら、外部研修に3名しか参加できておらず、新しい知識を習得するためにも、積極的に外部研修に参加する必要がある。

業務の見直しでは、内服薬管理方法は本館北館を統一し、事故やヒヤリハットが起こった度に対策を考え、現在に至る。誤薬などの事故は少なくなったため効果はあった。

特養に関しては、毎日16:15からの看護師間の申し送りは確実にできているが、その日に勤務していないスタッフへの情報が伝わりにくい。

処置表の改善も行っているが、統一した処置が継続できない等まだ改善が必要である。

連絡ノートや日々の各フロアのノートの記入方法、活用方法などを検討し、より良いものに作りかえ、業務の簡素化を図ることが次年度の課題である。

ショートに関してワークシートや預かり表など1年にわたり改良を重ね、以前に比べたら分かりやすくなり、情報の共有や継続した処置ができるようになった。しかし書きやすさなど改良がまだ必要である。

その他、他職種との連携については、往診や回診、感染症発生時には伝達の手段として活用しているが、リーダーからのフロアスタッフへの伝達がないとこともあり、施設全体の朝礼の在り方の検討が必要と思われる。

30年度入院者人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数	4	6	5	3	2	4	4	4	4	1	3	2

- ・入所者健診 胸部レントゲン 7月 93名実施
- ・インフルエンザ予防接種 11月 93名実施 (ショートステイ利用者2名含む)
- ・往診 嘱託医回診 8回/月 (火・金)
- 関西サナトリウム・近藤泌尿器科 4週間毎
- ないとう眼科 3か月毎から6か月毎の往診へ
- ファミリー歯科 週に1回(月)
- ・医療的な管理 (平成31.3.31現在)
- バルンカテーテル留置 9名 インスリン注射 1名 ストマ 1名
- 経管栄養 8名 褥瘡 1名 ベースメーカー 1名
- 医療的ケア包括指示書 1名
- ・感染症対策 MRSA 保菌者(痰) 2名 ESBL 保菌者 (尿 4名)(痰 1名)
- 期間中インフルエンザ罹患者 利用者9名 職員 21名
- 結核追跡調査本年度7月で終了
- ・看護職員外部研修参加 感染症対策 2名 認知症ケア 1名

●管理栄養士

今期のテーマ おいしく、安全に最期まで食べる

- 今期計画
1. 経口維持加算の活用
 2. 低栄養改善・予防
 3. 給食委員会活動の見直し

1. 経口維持加算の活用

- ・ 毎月10～15名程度の利用者が経口維持加算を算定した。多職種からも誤嚥性肺炎の危険があるときは相談があり、広く周知できてよかった。
- ・ 経口・経管併用での栄養補給対象については、毎月評価することにより、誤嚥性肺炎の予防に効果があり、また、多職種意見集約の結果の経過報告およびサービス内容の変更提案が適宜できよかった。

2. 低栄養改善・予防

- ・ 再入所加算を算定した。算定することにより近隣病院の管理栄養士と連携し、その情報に基づいた対応の結果、低栄養の改善事例となり現在も施設での生活が問題なく継続しており家族に喜ばれている。
- ・ 体重減少が著しい利用者は、早期に主治医相談することができ、低栄養予防に努めた。だが、食事時間での様子観察機会を増やすために、業務時間割を検討していかなければならない。

3. 給食委員会活動の見直し

- ・ 今年度の担当者は職員食を普段から食べていることもあり、利用者の魚料理についての意見について、わかりやすく会議で意見を話すことができた。結果、魚の種類及び調理方法について改善につながった事例もあった。
- ・ フロアーでのお楽しみ食については職員自ら楽しんでかかわる雰囲気があり、一段と利用者が喜ばれたように思う。今後は計画書を作成できる職員を増やすように努める。

月 別 栄 養 所 要 量

(1日当たり)

平成30年度

月	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂 質 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミンC (mg)
4	1510	60.7	35.5	550	9.7	106
5	1530	60.8	37.7	558	9.4	104
6	1500	59.9	37.0	564	9.1	101
7	1512	60.3	35.5	538	9.2	104
8	1503	60.9	36.3	522	9.3	107
9	1528	60.3	36.5	575	9.9	100
10	1513	59.1	35.2	568	10	104
11	1512	59.5	36.0	529	9.2	97
12	1517	60.1	37.1	568	9.7	97
1	1512	58.9	34.9	634	9.4	103
2	1528	59.6	36.0	558	9.8	112
3	1514	59.8	36.3	556	9.2	111
平均	1515	60.0	36.2	560	9.5	104
施設 基準	1500	60.0	38	600	6.0	100

事業別給食数

平成 30年度
(食数)

		特 養			ショートステイ	デイサービス	職 員 等 合	計
		常食	動 食	合計				
4	朝	2,582	198	2,780	555	548	611	3,335
	昼	2,573	60	2,633	660			4,452
	夕	2,557	227	2,784	560			3,344
5	朝	2,627	184	2,811	612	591	622	3,423
	昼	2,622	32	2,654	722			4,589
	夕	2,593	217	2,810	621			3,431
6	朝	2,505	180	2,685	626	547	552	3,311
	昼	2,506	30	2,536	729			4,364
	夕	2,478	210	2,688	639			3,327
7	朝	2,688	184	2,872	691	514	592	3,563
	昼	2,684	31	2,715	795			4,616
	夕	2,659	217	2,876	699			3,575
8	朝	2,706	184	2,890	672	525	589	3,562
	昼	2,703	31	2,734	773			4,621
	夕	2,675	217	2,892	679			3,571
9	朝	2,645	172	2,817	587	510	559	3,404
	昼	2,638	31	2,669	690			4,428
	夕	2,614	200	2,814	593			3,407
10	朝	2,627	205	2,832	554	575	606	3,386
	昼	2,670	31	2,701	653			4,535
	夕	2,664	215	2,879	564			3,443
11	朝	2,563	210	2,773	592	510	543	3,365
	昼	2,560	34	2,594	689			4,336
	夕	2,559	214	2,773	601			3,374
12	朝	2,654	261	2,915	585	562	539	3,500
	昼	2,662	62	2,724	673			4,498
	夕	2,649	261	2,910	594			3,504
1	朝	2,655	277	2,932	540	489	491	3,472
	昼	2,673	62	2,735	615			4,330
	夕	2,662	278	2,940	547			3,487
2	朝	2,432	250	2,682	474	528	492	3,156
	昼	2,458	56	2,514	559			4,093
	夕	2,436	252	2,688	481			3,169
3	朝	2,738	278	3,016	522	573	577	3,538
	昼	2,670	68	2,738	606			4,494
	夕	2,739	279	3,018	529			3,547
合計	朝	31,422	2,583	34,005	7,010	6,472	6,773	41,015
	昼	31,419	528	31,947	8,164			53,356
	夕	31,285	2,787	34,072	7,107			41,179
1 日 当	朝	86	7	93	19	21	19	112
	昼	86	1	88	22			149
	夕	86	8	93	19			113

食 品 群 別 摂 取 量

(1日あたり)

平成 30年度

食 品 群	施 設 基 準	栄 養 実 績
穀 類	190	170
芋 類	55	40
砂 糖 類	10	13
油 脂 類	8.0	7.5
大 豆 類	85	90
緑 黄 色 野 菜	120	120
そ の 他 野 菜	200	180
果 実 類	80	80
海 藻 類	6	6
魚 介 類	70	60
獣 鳥 肉 類	60	65
卵 類	30	30
乳 製 品	200	210

平成30年度給食関係実施一覧表

4月		10月	
6	給食委員会	5	給食委員会
8	花見 (弁当)	12	誕生食
18	誕生食	13	十三夜 (栗名月)
5月		20	秋祭り (案)
5	端午の節句	24	DS. 中華
9	DSマリン寿司	29	味めぐり
11	給食委員会	31	ハロウィン
13	母の日	11月	
16	特養遠足	2	給食委員会
17	誕生食	16	味めぐり
6月		19	DSフルーツサンド
1	給食委員会	23	誕生食
11	味めぐり	12月	
17	父の日		お楽しみ食
19	DS. お好み焼き		ロールケーキ
23	誕生食	6	DS. 寄せ鍋
7月		7	給食委員会
	お楽しみ食	11	特：お楽しみ食
	クレープ	12	特：お楽しみ食
2	誕生食	15	誕生食
6	給食委員会	24	DSケーキ
7	七夕	25	クリスマス会
10	特：お楽しみ食	27	餅つき大会
11	特：お楽しみ食	31	年越しそば
20	土用の丑の日	1月	
27	DS. ファーストフード	1	新年祝賀会
	8月	7	七草がゆ
3	給食委員会	11	給食委員会・鏡開き
7	誕生食	15	小正月
17	味めぐり	21	DS. すき焼き
25	DS割り子そば	23	誕生食
26	盆踊り	2月	
9月		1	給食委員会
7	給食委員会	2	節分
12	誕生食	12	DSマリン寿司
18	敬老会	19	誕生食
19	DS. 敬老	25	味めぐり
24	十五夜 (芋名月)	3月	
		1	給食委員会
		2	ひな祭り会
		14	DSマリン寿司
		18	誕生食
		26	味めぐり
		29	DS. BBQ

●ショートステイ

今期のテーマ ご利用者、ご家族、居宅ケアマネジャーから選ばれる
ショートステイを目指す

- 今期計画
1. 他の事業所との連携・情報交換を強化
 2. 年間平均稼働率 107%の達成
 3. 安心・信頼できる環境および場所の提供
 4. 地域に進出
 5. ケアの質の向上

1. 他の事業所との連携・情報交換を強化

- ・サービス担当者会議への参加 参加 5 1 件・照会 4 6 件・不参加 2 6 件
※ (照会⇒ご家族の都合により日程調整困難)
- ・相談員会 定例会議・フレッシュ相談員会 計 3 回 参加
- ・緊急時のベッド調整・受け入れや身寄りのない方の受け入れなどを行った。虐待事例についての受け入れはなかった。

2. 年間稼働率 1 0 7 %の達成

- *平成 2 9 年度稼働率：1 0 5 . 0 8 %
- *平成 3 0 年度稼働率：1 1 2 . 1 8 %
- ・年間稼働率 1 1 2 . 1 8 %なので、目標稼働率 1 0 7 %は達成することができた。
- ・夜間に喀痰吸引等の実施ができる介護職員を配置することで、夜勤職員配置加算Ⅲを算定し、夜勤職員配置加算Ⅰ (13 単位) からⅢ (15 単位) に変更し、年間の売り上げも増加している。

新規契約者数	退所者		
	当施設入所	他施設入所	死亡
53 名	9 名	10 名	14 名

3. 安心・信頼できる環境および場所の提供

- ・フェイスシート等を基に居室準備表を作成し、職員間で情報を共有。個々のご利用者に合わせてケアを実施することで、安心ができ、事故に繋がらないように努めている。また、転倒の危険性がある方に対してはセンサーマットやセンサーチャイム等を設置し、未然に事故を防止できている。日中は入れ替え等でお部屋をすぐに用意できない方に対し、静養室やソファなどを活用し、くつろげるスペースを確保している。顔馴染みの関係を作ることができるよう職員が間に入り、会話を楽しんで頂いたり、食事席を配慮したりするなどして対応している。
- 又、午後からはレクリエーションを行い、体操など身体を動かす機会を設けている。

4. 地域に進出

- ・前年度と同様、神出文化祭において作品を作成し、展示。展示物を見に行くなどの外出、初詣などの外出を行った。

5. サービスの質の向上

ご利用者の情報をケアマネ・ご家族・関係職員との間で伝達、共有が出来るよう努めてきた。ただ、忘れ物の件数については減ってきているが、持参物が紛失したりすることが何度か見られた。ご利用者、ご家族に対して持参物の量を簡素化して頂くよう依頼する、持参物には必ず名前を記入して頂くよう依頼している。

記録内容の工夫(ご家族の知りたい情報をわかりやすく的確に伝える)をすることにより、ご家族から記録を読むことを楽しみにしているとの声も聞かれるようになってきている。連続して4日以上ご利用される方については施設サービス計画書を作成し、統一したケアができるように努め、在宅サービスに近づけたサービス提供を行っている。

●デイサービスセンター

今期のテーマ 利用者、家族のニーズに添ったサービスを提供する

今期計画 延利用人員 8,034人(26人×309日)

1. サービスの質の向上
2. 介護職員の養成と介護技術向上
3. 稼働率70%を目指す
4. 顧客満足の高いサービスの提供
5. デイサービスフロアにおける環境整備

1. サービスの質の向上

職員同士がペアになり、それぞれで目標を立て利用者に対しサービスを提供した。

- ・車イスに座っている利用者の姿勢を正しく直す
- ・利用者が不安なくデイサービスで過ごして頂けるよう声かけを行う

今回立てた目標に対し職員全員が達成できたと考える。

引き続き外部研修に参加するとともに、丁寧な介護、声かけを実施する事とする。

2. 気づきの出来る介護職員の養成と介護技術の向上

施設内外で行う研修に参加する事により、知識や取り組み方について向上出来たと考えるが、外部研修に参加する機会が少なかった。

3. 稼働率70%を目指す

平成29年度稼働率：57.51%

平成30年度稼働率：60.84%

新規利用者の獲得や利用者の利用回数が増えたこともあり、前年度より少しではあるが稼働率が上がったが目標達成には至らなかった。引き続きケアマネジャーと連絡をとりながら、新規利用者の獲得を図る。

4. 顧客満足の高いサービスの提供

他事業所においてはタオルのレンタルを実施しているため、バスタオルのレンタルについてアンケートを利用者家族に実施。実施結果レンタルでも準備する必要がなくなるのであれば助かるとの回答があり、個別にて貸出し出来るよう実施。

5. デイサービスフロアにおける環境の整備

今期フロアの環境整備が行えていない。利用者にとって安心して過ごせる場所が提供出来る様アイデアを出し合い改善に努める。

●ケアプランセンター

今期のテーマ 地域包括ケアにおけるケアマネジャーの役割を担う

- 今期計画
1. 地域包括ケアを推進する一員としての役割を担うケアマネジャーになる
 2. 身近な「福祉相談窓口」の相談者（ケアマネジャー）になる
 3. 介護保険制度改正への対応を迅速に行う
 4. 地域貢献の充実

《 実績 》

*平成 29 年度稼働率：84.11%

*平成 30 年度稼働率：70.96%

あんしんすこやかセンターや病院等各方面からの相談は毎月新規利用相談があったものの職員の増員に伴い稼働率が低下した。ケアプラン件数は増加したものの、年間稼働率は70.96%であった。

1. 地域包括ケアを推進する一員としての役割を担うケアマネジャーになる
 - ・住み慣れた地域で生活することを支援することを念頭に、利用者の残存能力を活かし、また、介護保険以外での地域の資源についても活用できるようにケアマネジメントに務めてきた。
2. 身近な「福祉相談窓口」の相談者（ケアマネジャー）になる
 - ・各あんしんすこやかセンターより随時新規利用の相談あり。職員の異動があったが、利用者の増減は大きく変化なく推移している。平成 30 年度の新規利用者は介護認定の方が 17 名、予防認定の方が 19 名であった。
3. 介護保険制度改正への対応を迅速に行う
 - ・介護保険制度改正による変更点について、改正のポイントを把握し、利用者に対して説明と事業所としての対応を行い問題はなかった。
4. 地域貢献の充実
 - ・毎月のふれあい会食会の送迎の実施
 - ・認知症カフェの開催 5 月、9 月、11 月
 - ・神出シニア倶楽部 4 月（介護保険制度説明会） 7 月（明石大衆演劇場への送迎）

平成 30 年度 居宅介護支援事業

居宅介護支援費 実績報告書 (平成 30 年 4月～平成 31 年 3月)

項目 月日	ケアプラン 契約件数	支援費 請求件数
4 月	77 件	70 件
5 月	78 件	72 件
6 月	85 件	73 件
7 月	85 件	78 件
8 月	80 件	69 件
9 月	75 件	70 件
10 月	74 件	69 件
11 月	71 件	68 件
12 月	70 件	70 件
1 月	71 件	70 件
2 月	69 件	67 件
3 月	69 件	64 件
合 計	904 件	840 件
月平均	75.3 件	70.0 件

前 年 度	合 計	749 件	683 件
	月平均	62.4 件	56.9 件